



# 広島中央トピックス

## 女性へ伝承 初めての米作り講座



広島中央地域は1月30日、女性の水稻栽培初心者を対象にした「初めての米作り講座」を開講しました。講座は旧JA広島中央が2018年から始め、女性限定は4年目です。

米作り未経験者など26人が受講。講座は12月まで月1回開きます。全12回の講座で、育苗や田植え、水管理、収穫、耕起など作業時期に合わせた内容を営農指導員が講義し、年間を通して米作りを細やかに伝えます。高屋支店で開いた初回の講座

では、米作りの用語を解説。面積の単位や「代かき」「分げつ」「出穂」などを丁寧に説明しました。この講座では、トラクターや草刈機の実演も予定しています。



▲用語を説明する佐々木正文 指導員

## 日本農業新聞使い作文コンクール 豊栄支店ふれあい委員会



JA豊栄支店ふれあい委員会では、賀茂北高校で日本農業新聞の作文コンクールを開きました。8月の1カ月間、2年生24人が自宅に届いた新聞を読み、気になった記事や調べたことなどを作文にしました。12月13日に同校で表彰式を開き、最優秀賞1人、優秀賞2人、佳作4人を表彰しました。

最優秀賞の細川沙耶さんは気象変動の影響や課題に対する取り組みを取り上げました。農家の努力を感謝し、農業への支援や地域社会との連携の重要性を書き上げました。

同委員会の富田隆司委員長は「農業や地域の現状を知ってもらい、自分の将来を考えると一助にしてほしい」と話しました。



▲受賞した生徒たちと富田委員長(右)と豊栄支店の長久支店長(左)

## 介護の予防正しい理解を JA・共済連



JAとJA共済連広島は1月22日、高屋支店で介護セミナーを開きました。地元の組合員・利用者21人が参加。農協共済別府リハビリテーションセンターの理学療法士、柏原健作さんが講演し、フレイルや認知症の基礎知識を説明しました。また、無駄な力を使わず身体的負担を減らした介護の動作などを伝えました。腰痛や膝痛を予防するストレッチや頭の体操にも参加者で取り組みました。

相良純昌支店長は「セミナー

などの協同活動に参加してもらうことが、組合員・利用者の健康や生活の支援になればうれしい」と話しました。



▲柏原さんの指導でストレッチをする参加者

## ポン菓子づくりを体験 河内小学校



東広島市立河内小学校の5年生6人は1月21日、29日に同校でポン菓子作りを体験しました。食農教育の一環で、地域の人やJAが協力しました。



▲ポン菓子を混ぜる児童

児童は、ポン菓子機で米がポン菓子になる様子を見学。水を加えて煮たてた砂糖をポン菓子に合え、味付けが均一になるように混ぜ、約200袋分のポン菓子を完成させました。

出来上がったポン菓子は、全校児童や授業などでお世話になった地域の人にプレゼントしました。米は、同町の田中克彦さんの水田10aで育てた「あきるまん」を使用。児童は、田植えと稲刈を体験し、生育過程も見学して米作りを学びました。



## 水稲

### 田ごしらえと種もみの準備

3月に入り、暖かくなると種もみの準備や田ごしらえなど、いよいよ令和7年産に向け本格的な準備に入っていきます。令和6年度は「令和の米騒動」もあり、米の価格は過去に例が無いほど高騰しました。備蓄米の市場放出や輸入米の動向が気になります。「高齢化」「担い手不足」「鳥獣害」の3つの大きな課題が残る限り、長期的な米不足は続きそうです。

生産者の皆さまには安定生産を続けていただき、まずは収量の確保をお願いします。

#### ◆田ごしらえ

冬場の耕起は何回されましたか？ 田を耕すことで膨軟な土になり、微生物の活動が盛んになります。そして未熟な有機物が分解されることで植物に必要な腐食酸に変化します。春に再度耕起し、田ごしらえをしましょう。

#### 田植え前に再度確認！

- ①「ミネラルG」などの土づくり資材を冬に施用していない場合は、地力増強のため施用しましょう。
- ②田の均平が保たれていなければ手直しをしましょう。
- ③入水口や水尻を確認しておきましょう。

#### ◆種もみの準備

種もみの準備は、田植え前35〜40日を目安に取り掛かります。

#### 1. 塩水選

塩水選により充実していない種もみを除去します。これにより育苗時の発芽揃が良くなり、初期成育も良くなります。

比重は水20ℓに対し「うるち」の場合は4.2kg、「もち」は2.3kgが目安になります。

#### 2. 種子消毒

塩水選した種もみを流水で洗い流し、種子消毒を行います。「テクリードCフロアブル」200倍と「スミチオン乳剤」1000倍の混合液を作り、24時間漬けておきます。

#### 3. 浸種

浸種は育苗作業のなかで最も重要な作業になります。以前は薬効を高めるため1日影干していましたが、「テクリードCフロアブル」はその必要がありませんので、すぐに浸種してください。

最初の3日間は薬効を安定させるため水の交換は行ないませんが、もみは吸水とともに水の中の酸素を盛んに取り込みます。酸欠状態になり、粃が腐るので、その後は毎日、水の入れ替えを行なってください。ただし、水温が10℃を下回ると休眠に入るので、水温を安定させるため循環型の水中ポンプなどを利用することをおすすめします。

#### 4. 催芽

浸種が完了すれば催芽作業に入ります。浸種は品種により異なりますが、積算温度で100〜120℃、日数にすれば7〜10日が目安です。置いている場所が水温が変わるので必ず状態を確認するようにしてください。催芽は28〜30℃の温度を約半日行ない、全体的に芽が鳩胸状態になったら完了です。ここで均一に催芽できていれば種まきまでの準備は成功です。

営農相談では「発芽揃が悪い」との相談が多いですが、ほとんどが浸種不足です。どの植物でもそうですが、発芽の条件は「水分と酸素と温度」です。粃の状態をよく確認してください。

また、思ったより催芽が早まり、田植えの準備が間に合わない方からも相談を受けます。催芽が済んだものを軽く乾かし、冷暗所においておけば1カ月程度は普通に種まきできます。芽が折れてしまったら発芽揃が悪くなるので、それ以上進まないうちに催芽器から取り出しましょう。

# 野菜

## ピーマンの栽培について

ピーマンは、夏の果菜類のなかで比較的低温に強い品種で、上手に栽培すれば秋遅くまで収穫を楽しむことができます。ただし、生育初期の湿害や夏の猛暑による乾燥には弱いので、かん水により土壌水分を調整する必要があります。

### ◆品種について

昔は、子どもが苦手とする野菜の代表でしたが、近年では「パプリカ系」や肉厚で味の良い品種が出るようになったことや、さまざまなレシピ提案などで料理に使用するバリエーションが広がり、消費量は上がっています。

広島中央地域では、肉厚で甘味の強い大型ピーマン「ちぐさ」を「でかピー君」として生産販売に取り組んでいます。また、豊作性の中型種「京波」や「ニューエース」、小ぶりのシシトウ型で甘味の強い「こどもピーマ

ン」も家庭菜園用として人気があります。

基本的に「ピーマン」「唐辛子類」「パプリカ」は形質や色、味に差はありますが同種になります。青果業界のなかでは赤くなった「ピーマン」を「赤果」や「金魚」と称し、敬遠しがちですが、本来、成熟すれば赤く着色するものです。成熟したものは甘味がのり、食卓の彩にも最適です。

### ◆定植から初期管理

定植は気候が安定する5月中旬が目安です。ピーマンの根は細く、比較的浅いところに分布します。排水対策はもちろんです。完熟たい肥を1a当たり400kgとミネラルGなどの石灰資材を15kg施し、十分耕起することで膨軟な土に仕上げてください。

その後は、定植前に野菜の元肥用肥料を10a当たり20kg施し、マルチをして十分地温が上がったところで定植をします。どの果菜類も同様ですが、植え付けは鉢土が1〜2cm出る程度の浅植えにします。定植後は苗が揺れないよう、仮支柱をしておきます。

ピーマンは十分に根張りをしていない生育初期が特に弱く、過湿・乾燥ともに嫌います。症状はすぐに葉に現れ、垂れ下がるので土の状態を確認して過湿が原因か乾燥が原因か確認してください。

ピーマンは花をたくさん咲かせますが、樹勢が弱くなったり、雨に打たれるとすぐに落花します。初めに結実させると養分を果実にとられるため、樹勢が極端に衰えます。2番果までは幼果の段階で取り除くようにしてください。

### ◆中期管理

ピーマンの枝はY字で分枝します。放任すればすぐに込み合いますので内側に向かう枝は折るように取り除きます。早いうちなら手で枝元をひねれば簡単に「ボキッ」と折れます。

その後はネットや支柱などで枝が垂れ下がらないよう仕立てていきます。

樹勢をよく観察し、葉色が薄くなり、枝の伸長が短いようなら肥料が切れてきた兆候なので追肥を施すようにしてください。

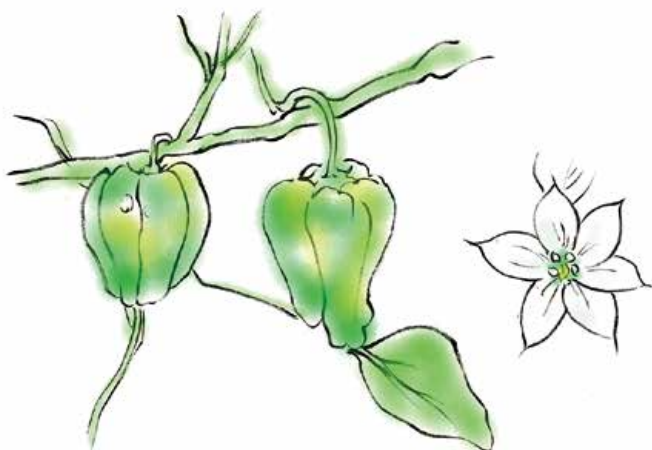
また、成りつ放しにしておく

勢が衰えるので、こまめに収穫するようにしましょう。

ピーマンを長く楽しむポイントは？  
①根が弱いので適湿管理を心がけましょう。

②収穫はこまめに行ないましょう。

③枝の整理をこまめに行ない、枝先が垂れ下がると樹勢が衰えるので支柱で支えるようにしましょう。





▶ Information お知らせ

広島中央地域 営農情報 **LINE@友だち募集中!**

お得な情報が  
いっぱいあるよ



**お友だちには...**

- ①米や野菜作りなどの営農情報をいち早くお届け!  
(病害虫、防除の情報などなど)
- ②災害時などの情報もいち早くお届け!!
- ③抽選プレゼントやイベント情報も!

**友だち登録方法**

こまる

- ①右のQRコードで読み取って登録
- ②ID検索から  
下のIDを入力して登録

**LINE ID**  
**@380qsxur**



**アグリセンター  
棚卸による休業のお知らせ**

棚卸に伴い、誠に勝手ながら**3月31日(月)**はアグリセンターを休業させていただきます。  
ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

**広島中央農機センター  
農繁期の休日対応について**

広島中央農機センターでは、次の日程で休日営業を開始します。どうぞご利用ください。  
【実施開始】4月19日(土)

**休日営農  
相談ダイヤルのお知らせ**

休日でも営農に関する相談をお受けする営農相談ダイヤルを実施します。営農指導員が電話で直接アドバイスします。水稻や野菜に関するご質問やご相談など、お気軽にお問い合わせください。  
【実施開始】4月5日(土)  
【受付時間】午前8時30分～午後5時  
【電話番号】082-423-5913

**アグリセンター  
4月の休日営業のお知らせ**

アグリセンターの休日営業を開始します。どうぞご利用ください。  
【実施開始】4月19日(土)  
【営業時間】午前8時30分～午後5時  
※5月以降の日程は、来月号でお知らせします。

東広島市  
園芸センターより

**講座受講生の募集について**

東広島市園芸センターでは、野菜生産講座と園芸日曜講座の受講生を募集しています。

**野菜生産講座**

- 【内容】直売所出荷者向けの野菜栽培、土壌肥料などの講義
- 【対象】
  - ・東広島市在住で市内直売所などの出荷農家として会員登録している人
  - ・秋冬野菜の栽培に取り組む意欲がある人

**園芸日曜講座**

- 【内容】野菜栽培や就農準備などについて、ほ場での基礎的な講習
- 【対象】
  - ・近い将来、東広島市内で就農を考えている人や高校生以上の学生など、農業未経験の人

**共通事項**

- 【開講期間】令和7年4月～令和8年3月(月1回程度、全12回)
- 【場 所】東広島市園芸センター
- 【定 員】20人(先着順)
- 【受付期間】3月3日(月)9:00～28日(金)17:00

**お問い合わせ**

東広島市園芸センター  
Tel (082) 433-4411

